

八王子市子育て応援企業 登録申込書

取り組み分野	項目	実施の有無 (○印)	取り組み内容【記入例】 ※掲載内容は一例です。 これ以外の取り組みでも記入してください。
(1) 子どもと一緒に利用できるサービスや設備の提供	1 子ども連れや妊娠中の人でも利用しやすい設備を整えている。		【施設・設備面での子育て支援の取り組みを記入】 (例) ・授乳室を設置している ・子ども専用のトイレがある ・トイレにオムツ交換台やベビーキープがある ・ベビーカーの貸出しを行っている ※キッズスペースは「3」に記入のこと
	2 子どもや子育て中の家庭を対象にした割引やサービスがある。		【サービス面での子育て支援の取り組みを記入】 (例) ・親子や子どもを対象にした割引を実施している ・ベビーシッターサービスを無料実施している
	3 キッズスペースを設置する等、子どもが過ごしやすい配慮をしている。		【キッズスペース等子どもへのきめ細やかな配慮を記入】 (例) ・キッズスペースを常設 ・キッズスペースはないが、子どもが楽しく安全に過ごせるよう十分な配慮がある ・親子の優先日(毎週●曜日など)を設けている
	4 子どもや子育て中の人に参加できるイベントや講座を開催している。		【子育て・子育てを目的とした主催イベント・講座の実績を記入】 (例) ・子育て支援講座「●●(講座内容)」を年間●回開催している ・子ども向けイベント「●●(イベント内容)」を年間●回開催
	5 子どもに関するその他の特色あるサービスを提供している。		【他に例の極めて少ない独自の子育て・子育て支援サービスを記入】 (例) ・在宅ケアが必要な乳児に訪問看護を実施(小児科) ・陣痛119番サービス、キッズタクシーサービス(タクシー会社) ・専門相談を実施(療育センター、児童精神科)
(2) 地域における子育て・子育て支援	6 子どもの職場体験・見学等に協力している。		【小・中学校の授業等への協力実績を具体的に記入】 (例) ・職場体験の受け入れを実施している(●●中学校、年●回程度) ・職場見学の受け入れを実施している(●●学校、年●回程度) ・小・中学校で出前授業を実施している(●●学校、年●回程度)
	7 子どもの安全対策に取り組んでいる。		【地域の子ども全体の安全を見守る取り組みを記入】 (例) ・ピーポくんの家に登録している ・かけこみ110番の店に登録している ・見守り協定事業者に登録している ・子どもを守るネットワークに協力している
	8 非行防止等の青少年健全育成に取り組んでいる。		【地域の青少年の健全育成に寄与する取り組みを記入】 (例) ・防犯パトロールを年間●回実施している ・青少年健全育成協力店に登録している
	9 子どもに関わる地域の行事や活動に協力している。		【地域の子育て・子育て支援を目的とした行事・活動への協力実績を記入】 (例) ・保育園や児童館などの子育てひろばで講師をしている ・施設を子育てひろば開催に無償提供している
	10 従業員の子どもに関わるボランティア活動を奨励し、支援している。		【従業員へのボランティア支援内容を具体的に記入】 (例) ・子どもに関わるボランティア休暇制度を実施している ・子どもに関わるボランティア活動に必要な場所・道具等の提供をしている
	11 地域において、その他の特色ある子育て・子育て支援を行っている。		【他に例の極めて少ない独自の子育て・子育て支援に係る地域貢献取り組みを記入】 (例) ・市内の4小学校で、地域農家が指導する学童農園を実施(農業協同組合) ・美術館を併設し、毎(土)は小・中学生無料(家具店)
(3) 子育てしながら働きやすい環境づくり	12 子育て中の従業員に配慮した、法令の規定を上回る独自の休暇・休業・勤務の仕組みがある。		【法定基準を上回る妊娠・育児に係る勤務規定を記入】 (例) ・育児休業が3歳まで、または就学まで取得できる(法定は1歳半まで) ・短時間勤務が就学まで、または小学●年生まで取得できる(法定は3歳まで)
	13 従業員が利用できる保育サービス又は保育料の補助がある。		【従業員向け保育サービスの取り組みを具体的に記入】 (例) ・企業内保育所を設置している ・保育料の補助を実施している
	14 男女ともに育児休業をとりやすい環境である。		【男女ともに育休を取得しやすいことが分かる取り組みを記入】 (例) ・育休を取得している従業員が、男性●人・女性●人いる ・育休を取得した男性従業員を広報で紹介し、男性も育休を取得しやすい職場環境づくりをしている
	15 子育てしながら働きやすい環境があり、多くの子育て中の女性が活躍している。		【従業員の仕事と子育ての両立支援の状況を記入】 (例) ・育児短時間勤務をしている従業員が●人いる ・子育てしながら働いている女性が、●人中●人いる(半数以上) ・育児休業取得後の職場復帰が●%である
	16 従業員に対して、その他の特色ある子育て支援を行なっている。		【他に例の極めて少ない独自の仕事と子育ての両立支援の取り組みを記入】 (例) ・3か月に1日、家族サービスのための休暇取得を推進(住宅メーカー) ・職員ニーズに応え、「ママの日・パパの日」として月1回勤務日以外の日に企業内保育を利用可能(医療施設)
(4) その他の子どもに関する独自の取り組み	17 他の項目にない子どもに関する独自の取り組みを行っている。		【(1)～(3)に属さない、他に例の極めて少ない独自の子育て支援の取り組みを記入】 (例) ・児童の学習活動を支援するため、市内の学校に寄付・寄贈(信用金庫)
実施項目の数 (○印の数)			【登録基準】以下の2つの要件を満たしていることが必要です。 (要件1)実施項目が2つ以上の取り組み分野にまたがっている (要件2)実施項目の数が①～④のいずれかに該当 ①「くるみん」マークの認定を受け、2項目以上 ②「赤ちゃん・ふらっと」を設置し、3項目以上 ③重点項目(色つきセル)を含む、4項目以上 ④5項目以上